

仙台市子ども読書活動推進計画 2024（中間案）に寄せられた 意見の概要と本市教育委員会の考え方について

1 意見募集期間

令和5年11月22日（水）～令和5年12月21日（木）

2 意見提出者数及び意見の件数

- (1) 意見提出者数 6人
(2) 意見の件数 22件

3 意見の概要及び教育委員会の考え方

■第1章 「仙台市子ども読書活動推進計画 2024」策定の趣旨と位置付け（1件）

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・PISAの引用が良いと思った。 ・読書活動が他の活動に代えられない意義をもった活動だという説得力がもう一つ感じられない。「ウェルビーイング」という文言を分かりやすい日本語で示した方がよいと思う。「複雑で予測困難な現代」も、どのような状況を指しているのかははっきりしない。 	<p>「ウェルビーイング」という文言は、国の計画等でも使用されているところであり、本計画においても使用したいと考えておりましたが、端的な言葉で表現することは難しいため、注記に加えることとします。</p> <p>「複雑で予測困難な現代」については、世界的な感染症拡大の影響やデジタル社会の進展などの様々な社会的変化が生じている状況をこのように表現しました。</p>

■第2章 子ども読書活動を取り巻く状況（2件）

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
2	<p>社会全体の状況と読書との関係を論じるのであれば、「ゲーム」「スマホ」「SNS」等が子どもの余暇の主流（生活の中心）となったことが1番かと思う。法律が制定されて、子どもの読む環境が具体的にどう変わったのかを記載するのであれば良いと思うが、法整備から「社会全体の状況」を捉えるのは難しいと思った。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、情報通信手段の普及等について記載を追加します。</p>
3	<p>「本を読むことが好きですか」という問いに対して、中学生で20%、高校生で22.9%が否定的な回答をしている。このことについての分析を入れるべきだと思う。</p>	<p>アンケート調査については、令和4年度に宮城県が実施した調査から仙台市立小・中学校及び仙台市内にある高等学校の児童生徒の回答状況の主なものを抜粋して掲載しております。巻末の資料編には、関連する調査項目も含まれる全体版を掲載しますのでご覧ください。</p>

■第3章 「仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）」の取組状況と課題（2件）

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
4	せんだい電子図書館 ID の配布、プロスポーツの観戦チケットが受け取れる読書通帳の取組は、子どもたちにとって読書への意欲を高めたり、読書への入口となったりする新しい企画だと感じた。どれくらいの効果があったのか知りたい。	特別利用 ID による電子図書館の令和4年度利用実績は、ログイン数が16,884回、貸出数が8,360点で、電子図書館の利用全体の1～2割程度となっており、子どもの読書の楽しみ方の幅が広がるとの声を学校現場から得ております。スポーツ読書通帳については、観戦招待引換券の配布数は400枚以上となり、従来の読書通帳とともに、子どもが読書に親しむきっかけの一つとなったものと考えております。
5	市民センターの誰が、どのようにボランティアを養成したのか、読み聞かせ会はどの程度開催され、どのような効果があったのか、具体を記載するとよい。	いただいたご意見を踏まえ、ボランティア養成方法等について記載を追加します。

■第4章 「仙台市子ども読書活動推進計画2024」の目的と基本的方針（2件）

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
6	市民図書館の小・中学生の利用人数の変化が載っているといい。18ページ④（市立図書館児童書貸出冊数）が分かりにくい。	16 ページに第三次計画の成果指標に係る実績の推移を掲載していますが、ご意見の市民図書館の小・中学生の利用人数は成果指標とはしていないため掲載しておりません。なお、仙台市図書館の小中学生の登録者数（当該年度に貸出の利用実績があった人数）の推移は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度：小学生13,808人、中学生5,631人 ・平成27年度：小学生14,336人、中学生3,745人 ・令和4年度：小学生8,971人、中学生1,911人 18 ページの表④の数値については、令和4年度の児童書個人貸出冊数1,534,774冊を、15歳以下人口135,353人で除して算出したものです。ご意見を踏まえ、この算出方法を注記に加えることとします。
7	地域の力を教育活動の中で発揮していただけるのはありがたいことだ。しかし、受け入れる側が負担になっている事案が、「読み聞かせ」	読み聞かせで読む本については、各学校において、学校図書館ガイドライン等を踏まえた選定をしているところです。引き続き、研修

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
	ボランティア関係ではよく聞こえてくる。ボランティア活動は、必要とされている内容を必要とされている時間帯に実施する必要がある。特に「読み聞かせ」は読む本が宗教的な内容ではないか、思想的に偏りが無いかなど、事前に把握する必要がある。ボランティアを受け入れすぎて学校が疲れてしまわないかなど、どこが把握していけばよいのか。	等を通して、周知してまいります。なお、読み聞かせやブックトークのボランティアを養成する仙台市図書館主催講座では、選書に際しては児童・生徒が置かれている様々な状況に配慮するよう注意を促しています。

■第5章 子ども読書活動の推進のための取組（6件）

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
8	多くの小学校では朝読書の時間があるようだが、普及していない学校もある。仙台市からも朝読書を勧めてほしい。	朝読書などの全校一斉の読書活動について、各学校に対し、より一層の啓発に努めてまいります。
9	文学館の子ども向けの企画を用意してほしい。近くに科学館や森林公園などがあり、周辺地域が活発になると思う。	毎年夏休みには、親子で楽しんでいただける、「こども文学館えほんのひろば」を開催しています。会期中は、絵本の原画展や、クイズラリー、「おはなし会」などを行っています。コロナ禍で中止をしていた、しおり作りなどの手作りコーナーを、来年度は再開予定ですが、さらに楽しんでいただける企画を考えていきたいと思っております。また、常時絵本や児童書を読んでいただける、「こどもの本のへや」も再開していますので、どうぞご利用ください。
10	始業前及び下校時間までの学校図書館の開館、夏休みの開館に取り組んでいただきたい。小学生は公共図書館、書店に向くのは保護者の力が必要になるため、すべての子どもが利用できる学校図書館を利用しやすくすることが最も有効と考える。年間の開館日数や開館時間を数値目標化してはどうか。	学校図書館では、多くの学校で夏休みに開館するなど、開館時間の工夫等に努めているところですが、公立図書館とは異なり、運営や管理は学校の職員が行っており、各学校の実態が異なるため、開館日数や開館時間を数値目標化することは難しい状況にあります。引き続き、学校図書館が可能な限り利活用され、子どもの居場所にもなるよう努めてまいります。
11	保育所や幼稚園での読み聞かせについて、実態を把握しているか。児童センターでは保育所や幼稚園と交流した事業を行っているところもある。その中で、保育所の先生、幼稚園の先生は、とても読み聞かせが上手で、また、日常的に実践されている。この表現だと乳児期	ご意見いただいたとおり、保育所や幼稚園等では、日常的に読み聞かせやおはなしを聴く機会を設けております。これまで取り組んできたことを本計画期間においても継続し、更に充実させていくこととしておりますので、ご意見を踏まえて、記載内容を一部修正しま

No.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
	における体験が不足しているように読み取れる。	す。
12	<p>・目標が「子どもが読書する」ことであれば、読み聞かせやストーリーテリングが自発的な読書活動に結び付くというデータが欲しい。ブックトークは、紹介された本がすぐに手に取られる風景を多くの教員が目に見ている。しかし、読み聞かせやストーリーテリングは「聞く」活動から広げられるかがポイントになる。「読み聞かせ」の主役は「読み聞かせている側」ではなく「聞いている側」で、「読み聞かせがきらい」という子どもは意外に多い。読み聞かせ＝読書活動推進にはならないのではないか。</p> <p>・「読む活動」から「書く活動」へのつなぎ方には配慮が必要。読書感想文、読書郵便、読書新聞という「書く活動」は、さらに「読む」という活動につながらないことがある。「書かせられるんだったら読まないわ」という結果につながってしまうことが少なくない。</p> <p>・図書を購入する際に、子どもたちの希望を聞く（図書目録等で選んでもらう）・学校で選書会を開催して子どもたちが直接選ぶ方法は効果が非常に高い。読書活動の入り口だと思う。</p>	<p>読み聞かせやストーリーテリングは、子どもたちが様々な図書やおはなしに触れる経験を共有し、読書の楽しさを知り、読書の幅を広げるきっかけを作ることを目的としており、本計画では、子どもが読書に親しむためには、保護者や教員をはじめとした身近な人の理解や支えが必要であると考えております。</p> <p>ご意見のとおり、図書を購入する際に、子どもたちの希望をできるだけ反映することは、読書意欲を喚起するものと考えております。各学校でも、子どもの意見を聴取する機会の確保に努めてまいります。</p>
13	土曜日に学校図書館が開放されていたら、親子や家族一緒に本を借りられる。ぜひ推進してほしい。	学校図書室等開放事業は、地域住民等で構成される推進委員会に運営を委託し、週末における読書の機会を提供するとともに、子どもの居場所の拡大や地域の生涯学習の場として学校図書室を活用する事業です。開放場所となる学校施設の状況や地域の実情も踏まえながら、必要な支援を進めてまいります。

■その他（9件）

NO.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
14	自分の周りにいる子ども達を見ると、本を読む子は言わなくても読むが、読まない子は全く読まないようだ。読まない理由として、本より魅力的なコンテンツがある、身近に本がない、親（子どもの近くにいる大人）が本を	市民の皆様が身近な場所で本に親しむことができるようにするため、市内77か所を巡回する移動図書館の運行や、令和3年11月からはインターネットを通じて電子書籍を借りて読むことができる電子図書館サービスの提

NO.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
	<p>読む習慣がないのではないかと思う。 様々な本（児童書・図鑑・詩集・写真集等）にすぐアクセスできる環境が必要だと感じた。 自分から情報（本）をとりに行くことも必要だが、本に親しみのない子にはハードルが高いと思う。大人の読書習慣を推奨してほしい。</p>	<p>供などに取り組んでいます。また、子どもから大人まで幅広い年代の方に読書に関心を持ってもらうため、図書館で各種講座・イベントを開催するとともに、市内のイベントに移動図書館車を出展するなどの取組を行っています。 本計画では、乳幼児が本に触れるきっかけづくりを重点的な取組として掲げており、保護者に向けたブックリスト等を発行・配布し、親子で読書に親しむきっかけをつくとともに、保護者が子どものために本を手取る機会をつくる方策を検討します。また、家族とともに読書をし、話題や感想を共有する「家読（うちどく）」を推進し、大人の読書推進にもつなげてまいります。</p>
15	<p>市が子どもにとっての読書活動を重要視しているのは理解できたが、本にこだわる理由が伝わってこない。紙の本の読書が重要な理由についてもっと言及してほしい。 小学生をもつ親として日々ネットとの付き合い方を模索している。タブレットが一台あれば勉強も娯楽も無限にできるのは否定できない事実である。 自分の経験として、東日本大震災で被災し、電子機器の頼りなさを実感し、避難した実家でたくさんの古い本に救われた経験がある。また、小児科の待ち時間に親御さんが持参したタブレットの電源が切れて、やることなく喧嘩を始めた兄弟がいたが、母親は置いてある絵本を手取ることもなかった。兄弟に本を読む習慣があれば、喧嘩しないで静かに待つことができたかもしれないし、何か一つ知らないことを知る時間になったかもしれない。 タブレットやスマホは便利で情報は無限に広がっており、子育てにも学習にも欠かすことのできない物だが、電源や電波に常に左右され、見てほしくない情報が目に入る危険性もある。この点だけでも紙媒体が有効だと言えるのではないか。よりよく生きるために本を</p>	<p>紙の本の重要性は十分認識しているところであり、図書館においても引き続き、紙を媒体とする図書の実用性を図ることとしております。一方で、国におけるデジタル社会の形成に向けた取組が進められている中、学校教育においても、情報化の進展により、子どもたちの健康や発達段階等に配慮しつつ、電子書籍の利用、学校図書館のDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める必要性が指摘されています。 本計画では、紙媒体または電子媒体のどちらか一方のみを推進するものではなく、乳幼児からその後の発達段階や年齢層に応じた読書活動を推進していくこととしておりますので、紙の本でなければならない理由について明記はしていないところです。 家読（うちどく）や書評合戦、読書会などの取組については、学校や児童生徒の実態に応じ、それぞれの学校で取り組めるよう、研修等で情報発信に努めてまいります。</p>

NO.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
	<p>読もう、読み聞かせしようなどどんなに言っても子育て世代には響かず現実味がない。読書活動が紙の本でなければならない理由、ネットではなく本である理由を記してほしい。</p> <p>家読（うちどく）や書評合戦、読書会などは受動的な読書活動ではなく、主体的でよい取組だと思うので実現してもらいたい。</p>	
16	<p>教科書以上の表現のものや、著者による思想が強い本は置かないでほしい。人権や国の政策等の本については中立の図書を置いてほしい。特に性教育の本は精査することを望む。</p>	<p>各学校で、学校の実情を踏まえ、学校図書館ガイドライン等に則った基準により選定を行っているところです。引き続き、図書館に配架する本や資料の適切な選定を行ってまいります。</p>
17	<p>図書館の駐車場が有料なので、30分無料などにしてほしい。</p>	<p>仙台市の公共施設の多くはできるだけ公共交通機関を利用するようお願いしており、各図書館とも専用の駐車場は設けておりません。複合施設で駐車場を設けている場合、使用料は適正な受益者負担が必要と考えており、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
18	<p>移動図書館を小学校の昼休みに周期的に行くようにすれば子ども達も利用しやすいのではないかと。防犯的に難しければ、小学校敷地にある児童館を集合地にしてはどうか。</p>	<p>移動図書館の巡回スケジュールは、各地域の利用者ニーズや駐車場の状況、運行経路の合理性などを踏まえて設定しており、子どもの利用しやすさも考慮して、小学校や児童館を駐車場としている地域もあります。各小学校の昼休みに合わせて巡回を行うことは困難ではありますが、いただいたご意見も踏まえ、移動図書館事業に取り組んでまいります。</p>
19	<p>図書スポットに移動図書館の本を持ってきて貸出してはどうか。利用者のリクエストからジャンルを絞っておくことで図書利用が増えると思う。</p>	<p>サービススポットでは、スペースの制約により冊数は限られますが、運営する図書館の本を展示して貸出を行う取組を行っています。今後も、いただいたご意見も踏まえ取り組んでまいります。</p>
20	<p>子どもの居場所として図書館を活用してほしい。CDなどは予約貸出とし、視聴コーナーなどもなくして机と椅子を置くだけでも違うと思う。市民センターも使用していない部屋の無料開放や集会所など地域の施設を最大限活用してほしい。ただし安全使用の管理に保護者や大人などが関わる必要がある。</p>	<p>図書館においては、施設の設置目的を踏まえ、本をはじめとした資料の利用を促すために蔵書や閲覧スペースの充実を図っており、このような取組を通して、居心地の良さにもつながっていくものと考えております。市民センターの諸室の無料開放は困難ではありますが、子どもたちの読書活動の推進に向けて、引き続き図書室を有する市民センターにおい</p>

NO.	ご意見の概要	本市教育委員会の考え方
		<p>ては、その活用に努めてまいります。 いただいた子どもの居場所に関するご意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
21	<p>漫画の単行本を活用してほしい。</p>	<p>漫画も含めた様々な図書資料の充実に努めてまいります。</p>
22	<p>児童館、児童センターには図書室があり、児童クラブの子どもたちはとてもよく本を読む。先生方の読書への誘い方も上手。時間があるから本を読むことができるが、「すぐそばに本がある」から読むのだと思う。各児童館や児童センターの読書活動の情報も収集してみしてほしい。児童館の本の購入は、学校図書館のような蔵書率や蔵書バランスのしぼりがないため、比較的自由に今時の本を買うことができる。 意外にも漫画はそれほど読まれず児童書が好まれている。</p>	<p>児童館等においては、全館で読み聞かせ等の読書活動を行っているところです。子どもたちの読書に親しむ機会がさらに充実するよう、今後も児童館等における読書活動を推進してまいります。</p>